

令和8年度診療科別目標発表



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

形成外科

医師の紹介



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

形成外科

No.	氏名	役職等
1	森田 勝	科部長、褥瘡管理室長
2	横山 紗妃	医員

診療実績等



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

形成外科

主な診療実績	R5	R6	R7
外来患者数	28.6人／日	28.9人／日	20.7人／日
入院患者数	15.6人／日	15.2人／日	12.9人／日
新入院患者数	23.6人／月	23.8人／月	16.0人／月
手術室手術件数	28.3件／月	26.2件／月	20.3件／月

DPC病名別症例数	R3	R4	R5
骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く)	48人／年	31人／年	32人／年
皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創	30人／年	19人／年	17人／年
糖尿病足病変	28人／年	19人／年	17人／年
その他の新生物	19人／年	32人／年	12人／年
皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	16人／年	25人／年	31人／年

※girasol抽出データ(MDC6分類)による

形成外科が取り扱う分野（日本形成外科学会ホームページにも記載）

外傷（けが）

- ・ 体表部の外傷
 - ・ 顔面骨骨折
 - ・ 切断指
 - ・ 熱傷
- など

美容（自費診療）

脱毛、シミ取り、重瞼 など

腫瘍（できもの）および再建

- ・ 皮膚良性腫瘍
- ・ 皮膚悪性腫瘍（皮膚癌）
- ・ 乳房再建

その他

- ・ 糖尿病性足病変
- ・ 重症軟部組織感染症（壊死性筋膜炎）
- ・ 褥瘡
- ・ 他科手術創の治療

など

先天異常（生まれつきの病気）

- ・ 多指症（多趾症）
- ・ 耳瘻孔、臍ヘルニア など

・患者のニーズは十分にある

近年、美容医療に対するハードルは下がっている
それでも、いわゆる美容クリニックはハードルが高いと感じている人も多い

当院で行うことの、安心感（無理な勧誘はしない、無茶なことはしない）

患者だけでなくお見舞いの人など多くの方が来院するため、そこからの口コミも期待できる。一度来たことのある病院という、アクセスのしやすさもある

保険診療の延長として脱毛が必要な患者もいる

・保険診療の知識・経験がある形成外科が美容を担うべきという啓発

倫理観を持った医師の育成 いわゆる直美（ちよくび）問題

専門知識のある医師が担当し、美容関連のトラブルの相談窓口になれる

・主な検討課題

診療時間・治療費：自費診療をやるからには、ある程度の利益を生み出す必要もあるが、
近隣の美容クリニックと競合しないように協力体制を構築することも重要

短期目標・令和9～10年度の目標

形成外科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

No.	項目	目標
1	美容医療(自費診療)	レーザーによる脱毛・シミ取り治療を開始
2	医師の育成	専門医を取得する医師への指導・教育

中期目標・令和12年度に目指す姿

形成外科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

令和12年度



新たな治療を開始し、患者の満足度を上げる

- ・美容医療（レーザーによる脱毛・シミ取り）を開始したい

新たな診療を開始することで、既存の保険診療が必要とされる新規患者の開拓・獲得も見込める

- ・常勤医の確保・増加

決 意

現状の勤務を継続し、地域のニーズに沿うような自費による美容診療にも取り組む